

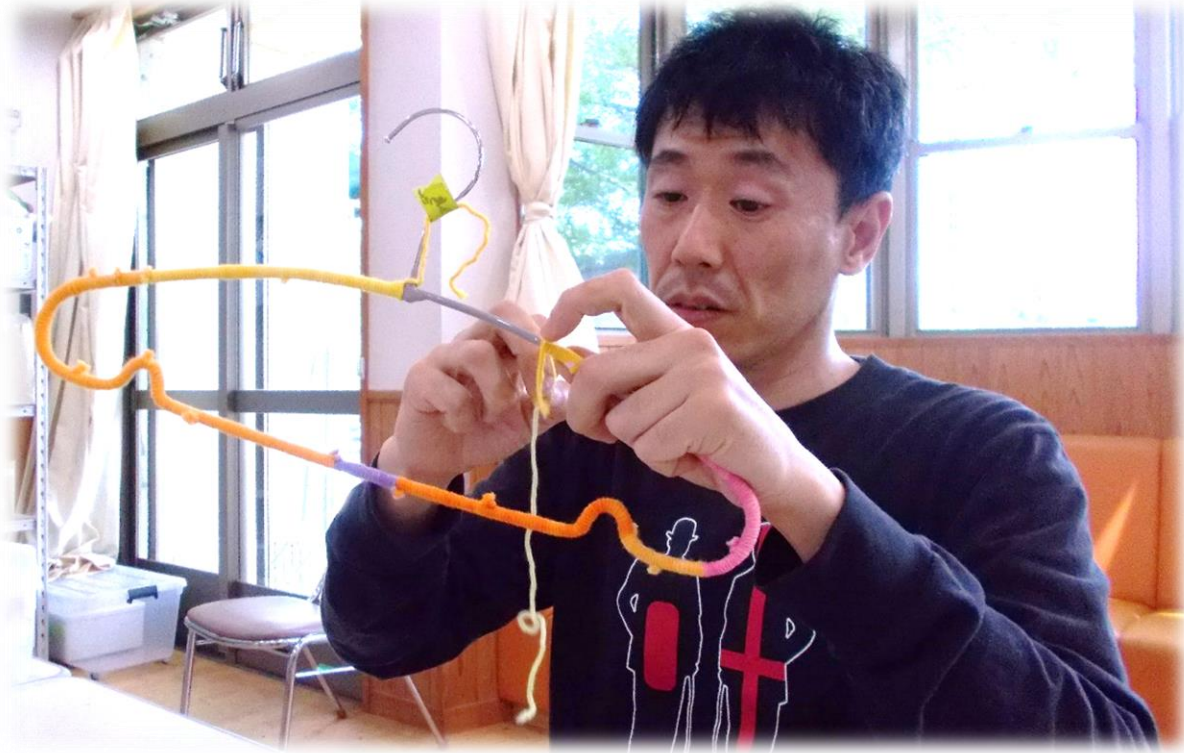
KTK
NO.118

あらぐさ通信

後援会費郵便振替口座
01070-7-32145
あらぐさ後援会

編集 あらぐさ後援会
編集協力 社会福祉法人あらぐさ福祉会
〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内広海道42-3
TEL 075-953-9212 FAX 075-953-9215

つづつづつハンガーづくり



Cグループでは、昨年度から新たな活動として、ハンガーに糸を巻き付けた「つづつづつハンガー」作りに取り組んでいます。

巻き付ける糸は、利用者さんが一本一本しんじ染めで染色している為、同じ色でもそれぞれ色味が違ったり、グリーンションになっていたり、とても綺麗な色になります。

糸を巻き付けていく工程はとても細かい作業で根気がいらしますが、「どんな仕上がりになるかな」と期待を持って、楽しそうに取り組まれています。

(右佐)

総会 2 部 講演「医療受診困難者がかかりつけ歯科をもつことの意義」

スペシャルニーズデンタルクリニック はれの樹

院長 大橋 瑞己 氏



僕は、昨年から乙訓自立支援協議会に参加をしています。そこで色々な施設の皆さんとの繋がりが出来ました。医療受診困難者（私はそう考えています）の人、というのは、基礎疾患があり、恐怖心があり、医療を受診する上で、色々な苦悩や苦労があります。受診に対する支援が必要な人達として医療機関が連携してとりくむ必要があると思っています。

僕は、神奈川歯科大学を卒業してから14年間、歯科医として働き、この地域に来て兄と歯科医院を立ち上げました。当時、歯科衛生士として活動されていた岩崎さんと、医療の受診が困難な人について考えるようになりまして。そして、昨年10月、「はれの樹 スペシャルニーズデンタルクリニック」歯科医院を開設しました。クリニックのキャラクターは妻が描いてくれました。彼女は何も無い所から、何かをつくるのがすごく得意です。『かわいいどんぐりがら匹！』これを知らない人がいないというくらい「はれの樹クリニック」を育てていくのが僕の責任かなと思っています。

歯科受診の困難さについては（受診への抵抗感を増す）障害の特性があると思います。スムーズな受診に至るまでの身体的・精神的苦労には色々なケースがあります。泣き叫び、医院にたどり着くまで大変だったという訴えがあります。歯科治療というのは、本当に負のイメージが強いです。何をされるのか分からない道具とか、口の中を触られたりする。1回でも嫌な思いをすると、恐怖心が付きまといまいます。家を出て、歯科医院に向かう所から治療のステップが始まっています。『今日はここまで出来た！』発達障害のある子たちは成功体験を積みながらちょっとずつ変わっていきます。

開業して8ヶ月ですが、はじめは待合室から部屋に入ってこなかった子が、自分で歩いて椅子に座るという行動をとってくれます。治療の安全を担保するために、椅子にきちんと固定したり、腕が拘縮していたら、しっかり伸ばしてあげる。痛くなく、しんどくなく、安楽に処置ができるように配慮しています。基礎疾患や全身状態とかの知識も必要ですし、歯科医師の経験を踏まえて治療をしています。虫歯の治療は精密です。この治療を受け入れられるような受診困難者はどれくらいいらっしゃるでしょうか。健診で治療が必要な歯を見つけることは大事ですが、虫歯が無いから行かなくていいよというのでなく、普段から管理をしておく事が大切です。

受診困難な方が、急に治療が必要になった時に、かかりつけ医があってすぐに行けるとか、訪問診療してもらおうとか、対応できる所が必要です。受診困難な人のセーフティネット、その人の健康にずっと寄り添っていく、平素から診て貰える所が必要だと思っています。

僕が大切に思っていることは、食事という人生の大きな喜びです。食べる事ってすごい大きな喜びです。足が動かなくても、ご飯が食べられれば生命は維持できます。生命の根幹を支える、例外なくすべての人にとって大事なことだと考えています。

医療健診のハードルが高い歯科医療においては予防治療が大切です。かかりつけ医をつくるのが安らかな口腔管理の維持につながります。口腔衛生を保つことの意義について一番気になるのは汚れです。口の中は無菌にはなりません。放っておいたらどんどん増殖していきます。ご飯を食べたら一緒に身体に入っていきます。嚥下障害のある人は、菌が全部附着に入っていきます。治療の前にはベースとして、口腔を綺麗に掃除し

ておく必要があります。口の中の菌垢中の菌の量は、比較すると糞便中の量より多い程です。



あらぐさ後援会

総会 が開催されました



六月一日土曜日、十三時半～十五時半 障害福祉センターあらぐさ1階ホールにて、二〇二四年度の総会が開かれました。二〇〇五年から長きに渡って会長を務めて頂いた、野々下先生からお別れの挨拶と力強いエールを頂き、議案についても滞りなく承認を得られています。役員の新体制が発表された後、大橋新会長から法人に対して寄付金の贈呈式が行われました。議事の終了後、第一部では、大橋先生からの記念講演と質疑応答が行われました。職員、利用者、家族、関係者と六十名を超える参加を得て盛況に終わりました。

次に、歯周病の治療についてお話しします。歯周病というのは感染症です。口の中に歯周病の病原細菌が歯と歯茎の境目に集まってきます。そして歯の周りの歯茎とか、支えてくれている骨を破壊していきます。これは歯だけの問題ではなく、この細菌は血液によって身体中を巡っていきます。そして所謂「菌血症」になり、免疫が働いて殺していってくれますが、血管の中の菌を殺し続けるという事は、身体の中でずっと炎症反応が起こっているという事です。免疫反応は血管の内皮や血管の細胞を壊してしまうので、全ての病気に繋がっていきます。動脈硬化や心筋梗塞、脳梗塞などの原因になります。又、心臓の感染症、糖尿病、女性であれば、低体重児出産や早産などにも繋がるといわれています。今では認知症との関連も認められています。又、直接的に肺に入ってしまうと誤嚥性肺炎という事で6位か7位ぐらいの死因になっています。



歯周病の怖さは慢性炎症で意外と痛くなく、じんわり進んでくることです。歯が揺れてきたなあとと思ったらもう手遅れになっています。歯周病の人には口腔内に歯周ポケットという

ものが出来ています。そこに黒い歯石がいっぱい溜まっています。これを取らないと歯周病は良くなりません。歯周病には治癒はありません。なぜかというとなってしまった骨は戻らないからです。

口腔ケアというのはとても大事だと考えています。歯科衛生士というプロの人が本気で口の中を綺麗にしようとした時の口腔ケアとお母さん達がやる口腔ケアは違います。歯科衛生士さんというプロフェッショナルが乙訓には沢山おられます。充実した歯科衛生士会という集団はどこにでもある訳ではありません。歯科衛生士さんは口腔衛生管理という仕事をされています。口腔衛生管理の意義は歯科疾患の把握が第一ですが、虫歯とか歯周病とか、口腔粘膜などを管理しています。ドクターに繋げていくのも仕事です。大切な事は、医療に関わる人たちの多職種連携です。歯科衛生士さんは、口腔衛生を通じて多職種との連携を図っています。プロフェッショナルな歯科衛生士による口腔ケアは、健康な身体の礎を築いて生活に息吹を与える、人生を豊かにする医療行為であると僕は思います。

僕はいま乙訓歯科医師会に所属しています。この地域には、安藤先生のように障害のある人の医療を支えて来られた方がいらっしゃいます。皆さんが安心して受診できる歯科医さんにつながっていけるよう、私も尽力をしたいと思います。(編集部による抜粋)

<フロアの発言から>

安藤歯科の安藤純夫と申します。あらぐささんとは、だいぶ長いお付き合いで、まだ施設も分かれていた頃、無認可作業所時代からのお付き合いです。色々困難を抱えている人達をどうやって支えていくのか、歯科衛生士さんと一緒になって研修をしました。その当時の医療は、歯科センターに送るという事でした。私が考えたのは、この地域で規模が小さくてもある程度まとまりがあって、困難な人の医療について考えている歯科医が治療に関わっていく、やってみる事から始めようという事でした。そして、幸いなことにあらぐさ福祉会と出会いました。個人に出来る事は限られています。ひとつのまとまった所から動きを作り、その輪の流れの中で、色々な先生が関わってくる。この乙訓で障害を持った方、在宅医療の方まで視線がいくようになっていく。乙訓地域なら歯科についていえば、訪問診療もできるだろう、小さくてもいいからどこかで実践を始めていく。そういう事を提案して、志のある人が実践をすすめる中で点と点をつないでいく、そして面を作る、集団が全面的に医療活動を展開するそういう構想です。今度はそれを乙訓だけでなく、色々な形で広げていく時期にきているのではないかと考えています。私も、もうひと踏ん張りしたいなあと考えています。

(編集部による抜粋)



花卉生産 ビニールハウス(大原野)



社会福祉法人あらくさ福祉会

事業紹介

平素より温かいご支援ありがとうございます。

2024年度のスタートにあたり、改めてあらくさ福祉会の全事業をご紹介します。

1986年3月に、光明寺の門前で1軒の借家、利用者さん4名、職員3名で開所した無認可の共同作業所あらくさは、2004年に社会福祉法人を取得し、現在、長岡京市内4カ所で、障害福祉サービス事業を展開しています。



《障害福祉センターあらくさ》

デイセンターあらくさ (生活介護事業)

ワークセンターあらくさ (就労継続支援事業B型)

2005年に長岡京市井ノ内に開所。

デイセンター1 【31名】

A・B・Cグループの3つに分かれ、散歩・買い物・畑・フェルト創作や染め作業・おやつづくり・音楽活動など、体調管理を行いながら、「やりたい!」という気持ちを大切に、活動を楽しんでいます。

デイセンター2 【20名】 ワークセンター 【10名】

クッキー・さをり・草木染め・食品加工・花卉生産などの作業や、おやつづくりや音楽など、多彩な活動を送っています。



畑作業



草木染め



クッキー・ケーキづくり



給食の提供

相談支援センターみちくさ

(特定相談支援事業)

ご本人の生活に対する思いや希望を聞き取りながら、必要な書類の作成やサービス調整などを行っています。



散歩



自宅への送迎

あらくさの職員たち

～利用者さんと目と目をあわせて～





衣食住
暮らしの場



サポートセンターあらぐさ (居宅介護事業等)

地域で暮らす願いを支えています。
入浴や食事介助、休日のガイドヘルプなど、その支援は多岐にわたります。
事務所は、井ノ内にあるアパートの2部屋を借りています。
(ヘルパー募集中!)



ケアホームいろいろ (共同生活援助事業)
ショートステイいろいろ (短期入所事業)

ケアホームかざぐるま

(共同生活援助事業)

2002年に開所。利用者さんは4名。奥海印寺で居心地の良い生活を送っています。

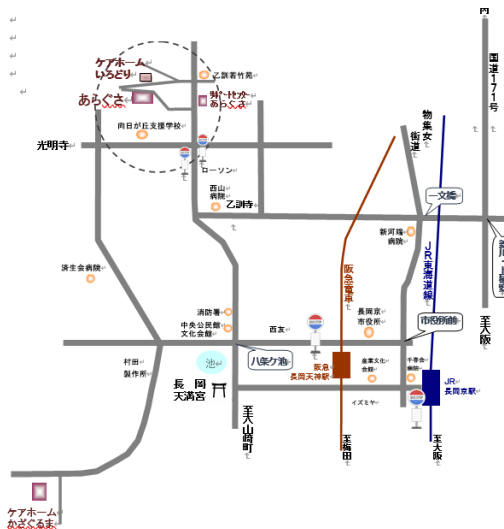
2012年、長岡京市井ノ内の390坪の土地に、4つの棟を建設。男女別7つのグループに分かれ、27名が暮らしています。

昼は通所施設に通う利用者さんたちを、70名以上の職員でシフトを組み、朝・夕・夜の生活を支えています。

また、各棟にはショートステイ専用の部屋もあり、多い時で1日6名が、1泊の利用をされています。

(ただし、朝夕の支援員・宿直職員を募集中!)

お問い合わせは 080-2459-0146・小川まで



「創 19 th～えがおの手しごと展～」が 開催されました



今年の3月に作品展「創19th～えがおの手しごと展～」を開催しました。

当日は雨が降る時間もありましたが、たくさんの方にご来場いただき、盛況のうちに終えることが出来ました。ありがとうございます。

今年は「春雑貨」というテーマで、春をイメージしたテーマ展示も含め、たくさんの製品を出展しました。フェルトを使った新作のスノードームやどうぶつマグネット、食品ではドラゴンフルーツのジャム、リピーターの多い定番の染め製品に、さをりでは布生地での量り売りなど、バラエティーに富んだラインナップで、来場者の方々をお迎えしました。

「あらぐさといえばクッキー」と知って頂いている方も多く、毎年1番の人気なのですが、今年は創作製品たちも負けないくらいたくさんの方に手に取って頂きました。特にテーマ展示に並んでいた製品が人気で、2日目の午後には売り切れになる製品もありました。3日目の内覧の際に利用者が来て、売れ行きを確認して喜ぶ姿もありました。

来場者の方からは「これ、とってもかわいいね」といったお褒めの言葉や、「このクッキーが好き」、「毎年この時に買うことにしている」といった、作品展を楽しみにして下さっている方の声も聴くことが出来ました。染め物やさをりは勿論、創作製品もたくさんの方の手に取って頂くことが出来、皆様にあらぐさ利用者の活動や、作品を知って頂く良い機会になり嬉しく思っております。

次回で作品展「創」は有難いことに20thを迎えます。アニバーサリーということでもっと力が入ります。

「どんな物をつくろうか？」利用者と一緒に相談しながら、また1年かけてたくさんの作品を作っていきますので、楽しみにしててください。(太田)



法人からの報告

4月19日、ご寄付により、軽自動車を購入しました。

これまで乗っていた軽自動車が18年を超え、サビなど老朽化が目立つようになっていたため、このたび軽自動車を購入しました

昨年度いただいた寄付金があり、寄附者様のご意向により購入することができました。これまでにない明るい色の車体で、またカーナビもついており、遠出の出張などにも役立ちそうです。職員も利用者も喜んでおります。



多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます

車いすを寄贈いただきました

このたび京都府社会福祉協議会様を通じて京セラ株式会社様より車いすを1台寄贈していただきました。小さく折たたむことも出来、また軽い車いすなので、お出かけの際にも使いやすく、介助もしやすいので大変喜んでいます。

クッションもつかさずいており、利用者の方も快適に移動できると思います。



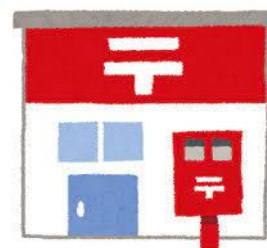
後援会費の入会・継続ありがとうございます

芦田昌夫 荒木まち子 粟野賢 池田芳子 石野洋子 石原洋子 井上はる奈
今村知佐 株式会社魚国総本社 大江恵子 大江貴光 大江潤 岡本敦子 小谷勝利
小野田照代 桂武士 金森たえ子 亀口公一 川口淳子 草野廣 窪島敏子
後藤真由美 坂本憲哉 佐名木良実 四方政則 篠原茂 篠原秀子 島津絢子
白石直子 杉谷伸夫 田中礼子 谷口奈緒子 田沼立也 長誠一郎 長理恵子
有限会社長岡美装社 長岡天満宮 掛川あづさ 中村時雄 仲本幸代 夏川久子
仁木宏 野崎清子 萩原暢子 橋爪早苗 濱川君代 林基樹 ぱんだ企画 昼神仁美
廣瀬愛 福井悦子 福島緑 堀江幸男 前田知臣 松島朱美 松村誠 丸岡正子
丸岡勇毅 三浦朱葉 水口秋子 道場恵美子 村田清子 森上郷 安松美佐子
山越和世 山中繁 山中章二 吉田美津恵 関正雄 幸前雅子 石川昌代 匿名者 9名

2023年11月16日~2024年3月31日まで 敬称略順不同

後援会への入会・募金のお願い

あらぐさ後援会の活動やあらぐさ通信の発行・発送は、皆様からの会費や募金によって支えられています。継続の会費納入がまだの方がおられましたら、同封している振込用紙をお使いいただき、ご入金の際、よろしく申し上げます。



あらぐさと私

デイセンター2 職員

西岡 伸也 さん

(にしおか しんや)



大阪生まれ、大阪育ちの西岡伸也と申します。趣味は沢山ありますが、やはり生きがいと呼べる趣味は、一つなのかもしれません。それは、サッカー観戦です。休日は、妻と観戦をします。ゴールが決まった時は、普段出せない声量で叫んでしまいます。「あー俺生きてるな！」と胸が熱くなる最高の趣味だと思っています。チームが勝つと、その日はずっとニコニコですし、チームが負ければ妻に「ウザい」と言われるほど落ち込んでしまいます。

少し話は脱線しましたが、あらぐさとの出会いは、ホームページを拝見させてもらい知りました。単純に、ホームページでのメンバーさんや職員さん達が生き活きとされており、とても魅力的に映りました。僕自身、「ここで働いてみたい！」と強く思い今に至ります。

自分は、高齢者介護の仕事を長くしていました。その後、地域活動支援センター3型(地活)で約一年働いておりました。高齢者介護とはまた違った大変さがあり、どんどん障害福祉の仕事に興味が増えました。地活では、メンバーさん達と、余暇で滋賀に行った事が思い出に残っています。いつも静かな方が満面の笑みで「ご飯美味しいな！天気よくて良かったなー！」と喜んでいただけて、「いい思い出になったなー来てよかった！」と心から思えました。

あらぐさでも、メンバーさん達と色々な思い出を作りたいですし、あの笑顔をまた沢山見られたらと思っています。メンバーさんとの時間は単純に「楽しい！」と思える事が多いです。体操の時は、メンバーさんと一緒になって、歌ったり飛んだりして、汗ダラダラで楽しんでいます。これから、一番にその方一人一人に寄り添い、日々考え、いい関係性を構築できる様、努めてまいりたいと思います。信頼関係を築くまではとても大変なことだと思いますが、まずは自分自身、メンバーさんと一緒になって、楽しみながら成長できればなと思っています。



今号からカラープリントになりました。綺麗な写真でより深く楽しんでいただけたらと思います。(編集担当)